

第134期 中間期株主通信

2021年4月1日▶2021年9月30日

“Global Excellent
Manufacturing Company”を目指して



住友理工株式会社
SUMITOMO RIKO Company Limited



TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
住友理工グループへの日頃のご愛顧に心より御礼申し上げます。

そして、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、皆さまが安心して生活できるようになることを心より願っております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、半導体の不足や新型コロナウイルス感染症拡大の長期化などによる自動車の減産影響を受けたものの、多くの地域で経済活動の回復が見られたため、売上高は前年同期比で増収となりました。事業利益は、第1四半期は概ね計画通りに進捗したものの、第2四半期には自動車減産、さらに鋼材を中心とする原材料価格高騰の影響を受けました。一方、プリンター市場や建機市場は堅調に推移し、一般産業用品部門における収益の下支えとなったため、全体では前年同期比で黒字に転換しました。

下半期の業績につきましては、引き続き、半導体などの不足による生産調整や原材料価格高騰の影響を受け一方で、現時点で入手可能な生産情報や予測などに基づいて、通期の業績予想を修正しております。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループの企業活動について一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 執行役員社長

清水 和志

Ⅰ 連結業績の推移 (IFRS)

■ 中間 ■ 期末

売上高

2,084億円

前年
同期比 24.6% ↑

事業利益*

1億円

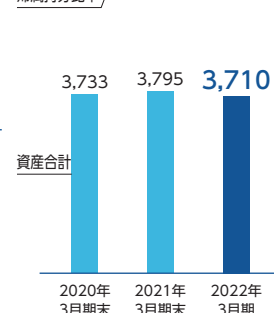
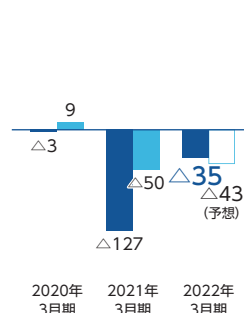
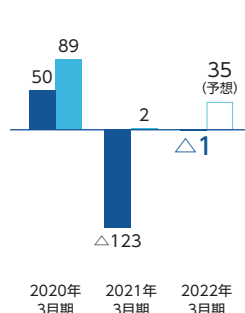
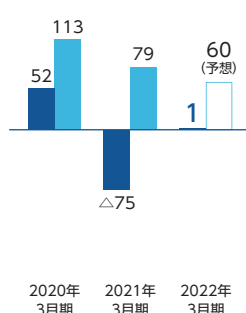
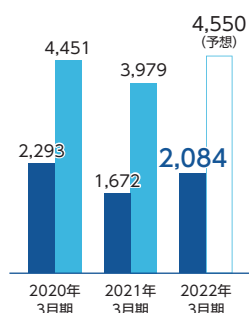
前年
同期比 —

営業利益

△1億円

前年
同期比 —親会社の所有者に帰属する
四半期(当期)利益

△35億円

前年
同期比 —資産合計(億円) /
親会社所有者帰属持分比率(%)

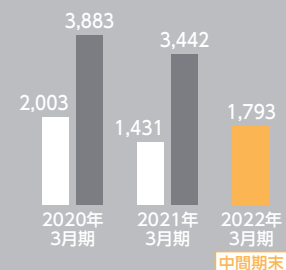
※事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を含めて算出しております。

自動車用品

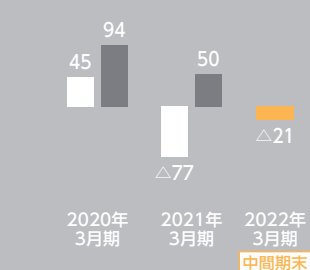
連結売上高
1,793億円
前年同期比 25.3%増

連結事業利益
21億円
前年同期比 —

■ 中間 ■ 期末 (億円)



■ 中間 ■ 期末 (億円)

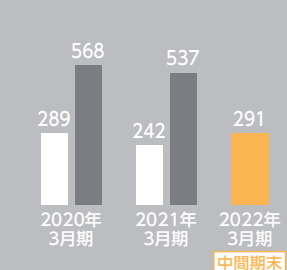


一般産業用品

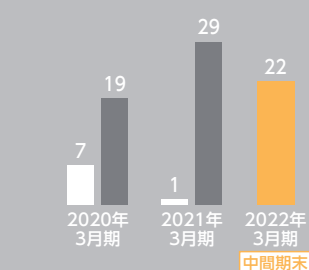
連結売上高
291億円
前年同期比 20.3%増

連結事業利益
22億円
前年同期比 —

■ 中間 ■ 期末 (億円)

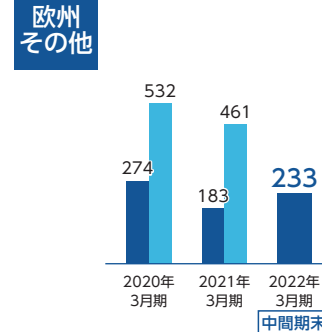
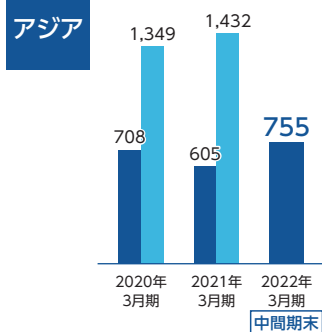
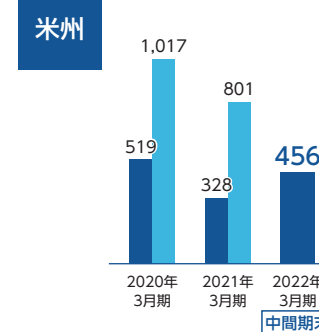
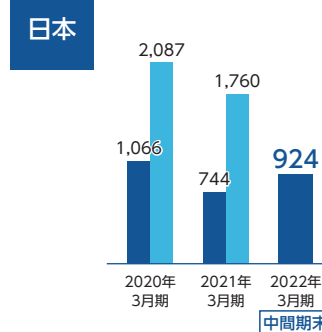


■ 中間 ■ 期末 (億円)



所在地別売上高 (億円)

■ 中間 ■ 期末 (※セグメント間消去前)



業績ポイント (自動車用品)

- 新型コロナウイルス感染症拡大の長期化や半導体等の不足による自動車の減産があったものの、経済活動の回復による需要の押し上げにより、多くの地域で前年同期と比べて生産台数が増加したため、増収

業績ポイント (一般産業用品)

- プリンター向け機能部品は、ペーパーレス化や労働環境の変化などを背景に、引き続き一定量の需要減少傾向が見られるものの、前年同期と比べて需要が増加したため、増収
- 高圧ホースは、各国の経済活動の回復により日本は輸出向けを中心に需要が増加。中国では、一部で前期からの反動減が見られたものの、輸出向けや建機以外の工作機械向けの需要も取り込み、増収

連結業績予想の修正 (2021年11月1日に適時開示済)

2022年3月期連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	事業利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
前回発表予想	億円	億円	億円	億円	億円	億円
通期 (A)	4,450	135	110	100	55	35
今回予想修正 (B)	4,550	60	35	25	△21	△43
増減額 (B-A)	+100	-75	-75	-75	-76	-78
前期実績 (2021年3月期)	3,979	79	2	△6	△34	△50

- ・上半期の売上高は新型コロナウイルス感染症拡大の長期化や半導体等の不足による各自動車メーカーの生産調整の影響を受け、前回の予想を下回りました。このような状況の下、現時点で入手可能な生産情報や予測等に基づいた下半期の売上計画は、引き続き、各自動車メーカーによる生産調整が想定されるものの、挽回生産や為替換算の影響により、前回予想に比べて増収を見込んでいます。
- ・利益においては、生産調整の影響や、各地域での鋼材等の原材料価格高騰が続いている中、高騰分の販売価格への転嫁が後追いになることにより、年間を通じて前回予想を下回る見通しです。

注目製品：薄膜高断熱材「ファインシュライト™」



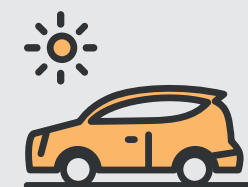
ファインシュライトとは、空気が動けないほど微細な、ナノサイズの細孔を持つ「シリカエアロゲル」を塗料化した製品です。シリカエアロゲルは水などに混ざりにくい性質がネックとなっていました。当社の高分子材料技術を応用し、塗料化に成功。不織布、成形樹脂などの基材にコーティングすることにより、薄くて高断熱な製品として、幅広い分野で活用していただくことが可能になりました。



自動車用品部門

電気自動車 (EV) 化が進むと、電気の使用効率、いわゆる「電費」が大切になってきます。特に、発熱する動力源 (エンジン) がなくなったEVは、冬場の暖房時に電気を多く消費することが走行距離にとっての課題となっています。薄くて高断熱なファインシュライトを自動車の各部位に使用することで、外の冷気を遮断するとともに、車内の暖房効率が高まります。

また自動車は、高いレベルで安全性が求められます。万が一、事故や故障などで火災が発生した際にも、ファインシュライトの高い断熱性能によって、乗車している人を守ることに貢献できると期待されています。今はまだ実用化されていませんが、皆さまの安全・快適のために、お客さまへの紹介を進めています。



一般産業用品部門



保温ボックスの専用パッド (左) とファインシュライト



コロナワクチンの定温保管のためのボックス

自動車は、その安全性をより追求するため、実用化までに比較的長い時間がかかります。一方で、一般的に使用されるような製品は、良いものがあればすぐに製品化される傾向があります。ファインシュライトはその高い断熱性を評価いただいて、いち早く「フードデリバリーの保温ボックス」に採用されました。また、コロナワクチンの定温保管のためのボックスにも使用されています。

さらに、モノづくり大国日本において、製造工程での熱発生が大きな課題となっています。カーボンニュートラル達成についても社会から求められており、製造現場の機械設備へのファインシュライト活用の引き合いを多くいただいています。実際に使用いただいた企業では、既存の断熱材を巻いた炉の外側の温度 (平均80.5℃) がファインシュライトを巻き付けることによって、約13℃低下。一方、炉の内部における熱効率は向上したため、エネルギーの無駄な消費が減少し、3.5%の省エネにもつながりました。また、現場の温度低下により、職場環境の改善や空調機器の省エネにも貢献しています。世界中で、カーボンニュートラルを目指す中、今後ファインシュライトが大きな役割を担うと期待されています。

統合報告書2021を発行

主に2020年4月から2021年3月までの当社グループの活動をまとめた「統合報告書」を発行しました (当社WEBサイトで公開)。

株主の皆さまをはじめとするステークホルダーの方々向けに、「財務情報」「非財務情報」をまとめています。

社長 清水からのメッセージも記載していますので、ぜひ、ご一読ください。

※PDFデータでの発行のみです。

https://www.sumitomoriko.co.jp/ir/integrated_report.html



会社概要

2021年9月30日現在

商号	住友理工株式会社 Sumitomo Riko Company Limited
設立	1929年12月
グローバル本社	愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋 電話(052)571-0200
小牧本社(本店)	愛知県小牧市東三丁目1番地 電話(0568)77-2121
資本金	12,145百万円
証券コード	5191
従業員数	連結 25,213名
主要営業品目	◎自動車用品部門 防振ゴム、ホース、制動部品・内装品、 燃料電池(FC)部材、ゴムシール材等 ◎一般産業用品部門 精密樹脂ブレード・ロール、 車両用・住宅用・橋梁用防振ゴム、 高圧ホース・搬送用ホース等

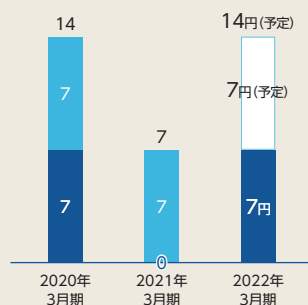
役員

2021年9月30日現在

取締役および監査役			
代表取締役 取締役会長	まつ い 徹	常勤監査役	お ぎ 俊 彦
代表取締役 執行役員社長	しみず かず し	常勤監査役	おお 橋 武 弘
取締役 専務執行役員	まえ だ ひろ ひさ	社外監査役	なが やす ひろ し
取締役 専務執行役員	おお し ま つか	社外監査役	せき ね あい こ
取締役 専務執行役員	お 久 しん いち	社外監査役	ひかく しま はかる
社外取締役	いり たに まさ あき		
社外取締役	はな びた しげる		
社外取締役	みや べ まり子		

1株当たり配当金

■ 中間 ■ 期末



当社は、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけ、業績等を勘案したうえで長期にわたり安定的な配当を維持することを基本方針としております。

当期の配当金につきましては、当第2四半期の連結財務状況や連結業績等を勘案した結果、中間配当を1株当たり7円とすることといたしました。期末配当につきましては、1株当たり7円を計画しております。以上の結果、年間配当予想は、1株当たり14円となります。

株式の状況

2021年9月30日現在

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式総数	104,042,806株
株主数	7,288名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
住友電気工業株式会社	51,534,901	49.64
マルヤス工業株式会社	10,901,521	10.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,034,300	4.85
フコク物産株式会社	2,719,091	2.62
住友理工共栄持株会	2,691,980	2.59
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,163,200	2.08
住友理工社員持株会	1,948,516	1.88
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	835,400	0.80
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	832,700	0.80
住友生命保険相互会社	678,000	0.65

注:「持株比率」は、発行済株式総数から自己名義株式(216,576株)を除いて計算しております。

MEMO 株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	毎年6月に開催
●基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
●公告の方法	当社のホームページに掲載 https://www.sumitomoriko.co.jp/koukoku/index.html
●上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所

●株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
●株主名簿管理人事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
●郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
●電話照会先	0120-782-031(フリーダイヤル)
●インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

住友理工株式会社

グローバル本社

〒450-6316 愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番1号JPタワー名古屋
TEL.(052)571-0200 FAX.(052)571-0225

小牧本社(本店)

〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地
TEL.(0568)77-2121 FAX.(0568)72-4537



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。